

平成21年度第1回山梨県固定資産評価審議会 議事録

1 日時 平成22年3月 1日(月) 午後13時30分~14時30分

2 場所 県庁北別館601会議室

3 出席者(敬称略)

(委員) 渥美幸久 有井昇(会長) 市原文子 小田切敏夫 柏原秀文  
木村靖郎 佐野 敏(代理:金丸宏) 田中光子 中山茂郎(代理:高  
野一郎) 西川重孝(副会長) 平井信子 (五十音順)

(事務局) 市町村課長 総括課長補佐、税政担当課長補佐 税政担当(2人)

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 会長、副会長選出
- (4) 議事
- (5) 閉会

5 議事に付した事案の件名

- (1) 平成22年度固定資産(土地及び家屋)の提示平均価額について

6 議事の内容

- (1) 平成22年度固定資産(土地及び家屋)の提示平均価額について  
・事務局から説明。

質疑

(委員)

宅地の下落率が大いのが増穂町、鵜沢町で国道52号線甲西バイパスが開通したことが影響したとの説明であるが、旧道の車の通行量が減ったからということではよろしいか。

(事務局)

委員のご指摘の通りで、車の通行量が減少し、中心商店街の利用者が減少したことにより商業地需要が減少したことによる。

(委員、事務局説明に補足)

甲西バイパスの影響に加えて、隣接する南アルプス市の宅地の動きが2、3年遅れて両町の動きに現れることと、また、利便性が高い南アルプス市に比べて価額に割高感があるためにこのような状況にある。

(委員)

富士吉田市の田、畑が他の市町村と比べ価額が高いように見受けられるがどうしてか。

(委員)

富士吉田市では、田・畑の取引実例があまりないことから、評価額を据え置いている。

・以上、質問、意見なし。

閉会